

# 第60回日本学連総会議事録

開催日 2014年(平成26年)3月10日(月)  
会場 ホテルニュー塩原(栃木県那須塩原市)

## 【議題】

1. 議長選出
2. JOAとの関係について  
(あわせて 山西・JOA会長あいさつ)
3. 個人情報保護理念について
4. 地図規約について
5. 会計について
6. インカレスプリントについて
7. 「テレインと地図の管理に関する規則」の廃止および新規則の作成について
8. 来年度幹事について
9. 技術委員会報告
10. 各部局活動報告
11. 各地区学連活動報告
12. 次期総会について

## 【出席者】(敬称略)

氏名	役職	学校名
山川克則	副会長	東京大学卒
木村佳司	理事(JOA理事兼務)	山口大学卒
山本淳史	幹事長	東京大学
新谷国隆	副幹事長	名古屋大学
平野大輔	事業部長	名古屋大学
高橋秀明	広報部長	金沢大学
山田晋太郎	事務局長	東京工業大学
新粥文哉	千葉大渉外・次期事務局長	千葉大学
杉村俊輔	普及部長	東北大学
平野弘幸	渉外部長	東北大学
橋場良太	次期渉外部長	東北大学
山田陽子	会計	早稲田大学
大久保宗典	東京大渉外・次期会計	東京大学
渡仲祥太	会計監査	名古屋大学
野本圭介	会計監査	筑波大学
五味あずさ	金沢大渉外・次期会計監査	金沢大学
千葉聡美	北東学連幹事長	宮城学院女子大学
大川拓哉	次期北東学連幹事長	東北大学
高嶋健伍	北信越学連幹事長	金沢大学
久須美裕	北信越学連副幹事長・次期北信越学連幹事長	新潟大学
佐藤大樹	関東学連幹事長・次期日本学連副幹事長	東京工業大学
村瀬貴紀	筑波大渉外・次期関東学連幹事長	筑波大学
川上雅人	東海学連幹事長	名古屋大学
今井祐太	東海学連副幹事長・次期東海学連幹事長	名古屋大学
宇井賢	関西学連幹事長・次期日本学連幹事長	京都大学
糸井川壮大	関西学連副幹事長・次期関西学連幹事長	京都大学
山西 哲郎	日本オリエンテーリング協会(JOA)会長	東京教育大学卒

## 【出席校】(31)

北海道、岩手、岩手県立、東北、宮城学院女子、福島、新潟、金沢、金沢工業、筑波、千葉、駿河台、東京、一橋、実践女子、津田塾、十文字学園女子、お茶の水女子、立教、東京工業、早稲田、日本女子、慶応義塾、横浜国立、横浜市立、静岡、名古屋、相山女学園、京都、奈良女子、大阪

(準加盟校出席: 山形、長野高専)

## 【委任状】(5)

茨城、東京農工、相模女子、京都女子、立命館

# 第60回日本学連総会議事内容

発言者		発言内容など
(敬称略)	所属	
		幹事会開始:9時15分
		<b>1.議長選出</b> ●今回の総会の議長に戸上直哉(東京工業大)を選出した。
山本		<b>2.JOAとの関係について</b> ●日本学連のJOA(日本オリエンタリング協会)への加盟について、これまでの議論の確認をし、最終的な意思決定を行った。その結果、JOAへの加盟申請をすることが承認された。
山本		今回の総会では、JOAへの正加盟について日本学連としての最終的な意思決定を行う。そのために、加盟時の条件など、幹事会などで今まで話してきたことを確認したい。
山本		資料確認 資料には書かれていないが、どこの都道府県協会に登録するかについては、皆さんの意思を聞くようにしたい。(具体的には、)本登録やふるさと登録する都道府県協会を聞きたい。特に指定がなければ、大学所在地の協会としたい。大学が複数(の都道府県に)所在する場合があるので、各大学がどこの都道府県に所在することにするか、確認するメールを今年度末までに事務局あたりから各大学へ送信する。
山本		あと、JOAへ支払うお金として、入会金50万円、年会費10万円である。日本学連の財政状況からすると大したお金ではないと思う。(9時25分 山川 途中出席)
山田(康)	東北	この総会でJOA加盟の承認が取れた場合、4月からはJOAへ個人で登録する際の加盟費は払わなくてよいのか。
山本		来年度の(JOAへの)登録はこちらで行うので不要である。二重登録にならないように(各加盟員へ)伝えてほしい。 →全会一致で可決された。(出席校36校中賛成36(うち委任状5)反対0)
木村		以下は、「5.会計について」を中断してあいさつ (9時46分 木村、山西・JOA会長 出席) 日本学連がJOAへ加盟することが決まったが、JOAは日本のオリエンタリング界を統括する、唯一の公益社団法人であり、最近JOCへ加盟した。直接挨拶してくださいということで、(日本学連総会に)来ていただいた。 山西・JOA会長あいさつ→別紙参照
山田(晋)		<b>3.個人情報保護理念について</b> ●「日本学生オリエンタリング連盟個人情報保護理念」案の確認と採決を行い、可決・成立した。
		資料確認 JOAの正会員になるのに伴い、日本学連の加盟に際して、きちんとした形で個人情報を管理するため、「個人情報保護理念」を作成し、それに基づいて管理していきたい、現在集めている個人情報は住所・氏名・性別・年齢・生年月日であるが、それらに加えて、郵便番号・電話番号・PCアドレスも集めることとしたい。これらは2010年度までは集めていたのだが、2011年度～2013年度は集めていなかった。 →特に意見は出されず、全会一致で可決された。(出席校36校中賛成36(うち委任状5)反対0)
山本		<b>4.地図規約について</b> ●「山がぼり」、「日本学生オリエンタリング連盟の地図の運用に関する規約」案について、議論の過程と内容の説明があった。その後、採決を行い、秋の総会までの間を修正期間として、その後必要な修正を加えることを条件に、可決・成立した。
山本		資料確認 この規約は、大会を開催しようとする大学がプロ Mapper(地図作成業者)に地図製作を依頼する際、日本学連が、地図作成費用の負担・著作権所有を通して、両者の間に入って、大会運営を補助することについて定めたものである。地図代については初回大会に限り、高くとられるが、大学は日本学連から地図を買う形で大会を開催することができる。この規約に則って、大会を開催したい大学が書類を書いて申請したり、プロ Mapperが地図製作の申し出をすることができるようになる。最近では、千葉大・東工大大会が(似たような形で)開催され、このときは地図作成費用160万円の学連負担は日本学連のシステム上、総会での承認が必要となったのだが、総会は年2回の開催なので、なかなか動き出せなかった。この規約では、幹事会の決済で済ませることができる。 (この後、山川の資料印刷のため、一時中断し、先に「7. 会計について」を議論した)
山川		この規程はここ5年、言い出してから7年くらいかけて、何度も書き換え、有識者の意見を聞きながら取り組んでいるものだ。私は、今までずっとオリエンタリングのことを考えてやってきて、それによって30年インカレが続いてきたのだが、今新しい人(プロ Mapper)が出てきた。今までは、自分の思いと責任感で多分にやってきたが、次の世代にインカレのシステムをつなげるために、法律を作らなければならない。それが地図規約である。私以外の人間が愛情と責任をもって、インカレや学連の仕事ができるような法律をつくり、やっとならした。これを作るために、幹事長経験者である齋藤理事を理事に招いて、ここ2年くらい専門的にこの仕事に当たらせてきた。齋藤理事自身、まだ練りきれていない部分があるというが、ここで法律を作っておかないとできない事業があるので、ここでいったん成立させてほしい。そして、修正期間としてまず半年くらい運用して、必要があれば、修正点を出してきちんとした法律にしていきたい。
		最近の早大OC大会や千葉大・東工大大会のようなプロジェクトは、臨時総会での決議がこれまで必要だが、(同じようなプロジェクトがあるたびに)毎回総会を開かなくてはいけい。また、私以外の人間が(学連の仕事に)参加できるようにしたい。このため、学連の将来を考えて、この規約を作った。対象となる事業の中で、喫緊のものは、千葉大・東工大大会と同じようなコンセプトで行われる、筑波大大会である。承認する場を総会から幹事会に移すことで、フットワーク良く進めていきたい。
		あと、指定管理者契約というものを別に作り、私が学連の中に入り、コンサルティングをして、印刷作業を含めて、学連をサポートしていくことを考えている。そちらの契約はまだ未整理である。 →特に異論は出されず、賛成多数で可決された。(出席校36校中賛成35(うち委任状5)反対1)
山川		<b>【地図の売り上げ報告】</b> 資料確認 全体で見れば、学連資産の有効活用という点で、必ずしも黒字である必要はなく、意義のあることにお金を使う方針で進めている。あと、地図作成予算160万円の妥当性について、昨日(の幹事会)で問われた。毘沙門山では、予算120万円で受注したが、実際に調査をすると、プロ Mapper2人を雇った分のギャラや、住居費などが上がり、私のギャラは2万円となってしまった。ただ、このプロジェクトの取りかかりであり、いい事業だったので痛くはなかったが、健全に受注していくためには、もう少し資金が必要だとわかったので、矢板山田の予算は160万円とした。筑波大大会についても、160万円の予算をつけている。参考までにインカレミドルの地図予算は、モデルイベントの分を合わせると230万円である。 事業を一つずつ見れば、もとを回収するにはかなり時間がかかるが、全体で見れば、学連のお金はあまり減っておらず、学連資産が十分活用されたと思う。地図の指定管理者がいないと、(学生の管理のみでは)お金が回らないくらいの規模まで大きくなっている。

		<p><b>5.会計について</b></p> <p>●山田(陽)より、今年度会計中間報告と来年度会計予算案の説明があった。</p> <p>●山田(陽)・山本より、まだ決算報告のない、一昨年度・昨年度会計について現状報告があった。当時の会計がお金の動きを洗い出すのと並行して、それとは別に幹事会でもそれを推定していき、秋の総会で報告する方針が説明され、了承された。</p>
山田(陽)		<p>資料確認</p> <p>【今年度会計 中間報告】  今年の収入は、加盟金、賛助金、地図販売収入、インカレミドル&amp;リレー2012事業収入である。そして、支出は、貸付金と部局活動費、幹事会役員活動費、事務局維持費とその他である。会計は、3月末で締めるので、決算は秋の総会で報告したい。  一特に質問は出されなかった</p> <p>(9時46分 木村、山西・JOA会長 出席)  (この後、山西・JOA会長あいさつのため、一時中断)</p>
山田(陽)		<p>【来年度会計 予算案】  大きな変更点が2点ある。1点目は、加盟金を3000円から2000円に値下げしたことである。その理由は加盟員と、地図販売による事業収入がそれぞれ増加していることである。かつて加盟金は2000円だったのだが、学連の会計がひっ迫したため、3年前に加盟金を3000円に値上げした。もし今後、加盟員が減少するなどした場合は、加盟費を再び上げる可能性があることをご理解いただきたい。  2点目は、ユニバー(世界学生選手権)への補助である。今まで、1年に10万円ずつ計上し、2年間で20万円の補助をしていたが、来年度は1年で20万円計上し、今年8月の大会には(今年度予算で計上した分との)合計30万円の補助をする。  一特に質問は出されなかった  一全会一致で可決された。(出席校36校中賛成36(うち委任状5)反対0)</p>
山田(陽)		<p>【一昨年度・昨年度の会計について】  担当していた、小柳・前会計が決算を出していない。小柳・前会計の就任時と退任・引き継ぎ時との差額が使途不明金となっている。通帳の明細を手に入れるのに2〜3週間かかるという話であり、今回の総会に間に合わなかった。今年の秋の総会で承認を取りたいと思う。</p>
山本		<p>補足したい。前回の総会でも、昨年度の決算報告ができないと報告した。その理由は、小柳・前会計が全く報告せず、1年間アタックしていたが、実際のものには得られなかった。これからは、前会計へのアタックを続ける一方で、こちらでも独自にデータを発掘して、外から調べて秋の総会で報告したい。本当の金額を知るためには、前会計の報告を待たなくてはならないが、次善の策を講じたい。  一特に異論はなかったため、秋の総会で報告することとなった。</p>
		<p><b>6.インカレスプリントについて</b></p> <p>●山川より、インカレスプリントについてこれまでの動きと今後の予定について説明があった。実験大会の報告書を基に各大学で議論し、6月の東大OLK大会にあわせて、正式大会開催について正式決定するための臨時総会を開催する方針が示され、了承された。</p>
山川		<p>資料確認</p> <p>資料は来年度インカレロング実行委員会の山上・委員長が作成した。インカレスプリントの出場選手は、アンケートの回答をお願いしたい。</p> <p>基本的には、(スプリントは)オリエンテーリングの一つの種目だが、世界では、スポーツとしての取り組み方に大きな変革があったため、日本でもそれに対応するべく、去年から急いで議論を始めた。インカレスプリントをめぐっては、5年前にも試行大会を開催したが、当時、学連は(正式大会の開催を)否決した。これまで、その否決の理由を含めて議論してきた。当時、世界ではスプリントが進化中だったため、パークOの延長としてとらえられていて、成熟したスポーツとしての議論がされていなかったのだと思う。ただ、最近では、そうではなくなってきたと言われていて、スポーツとして極めて先鋭的でセンシティブな、競技性の高いオリエンテーリングの種目の一つとなっている。日本から世界へ遠征した人からは、「山でのオリエンテーリングについては、ヨーロッパの自然の山に比べて日本の山は急峻でヤブが多いため、全然太刀打ちできない。ただ、町の中で行う、スプリントに関しては、テレイン環境にそれほど遜色がないのにも関わらず、それ以上に対応できていない。」という話が出ている。日本のスプリントはガラパゴス化している。これがスプリントに関する議論を始めたわけである。</p> <p>その一つの例がおととい(6日)の実験大会であった。オリエンテーリングの一種目として取り上げていこうというのがねらいである。我々は日本を代表する学生のスポーツ組織の一つであり、(スプリントの)世界の枠組みに対して、学連として対応しなければならない。実験大会をして、いろんな課題が浮き彫りになった。そのことを含めて、きちんとしたレポートを作成して、インカレスプリントの開催への取り組みをしたい。</p> <p>否決したという歴史は予想以上に大きい。否決した理由として、(競技時間)10分〜20分のスプリントのレースのために遠征する気にならないという点がある。(全日本大会を例に挙げれば、)全日本スプリントは、単独で開かれた場合、200人ぐらいしか集客できない。そうなると、学連としては、人がたくさん集まるときに開催するしかない。ただ、実験大会をすると、時間と人的資源の面から、インカレミドル・リレーの際に開催するのは厳しいという気がした(ので、正式な大会はインカレロングと合わせて開催するのがいいと思う)。</p> <p>方針を決めるのは私たち学連幹部だが、総会の議決が優先する。日本を代表する競技団体の議決として、責任は重い。これから、インカレスプリントの開催の是非、(開催する場合は)どういう形式で開催するか、出場人数、セレクションのあり方、開催時期を決めていかないといけない。</p> <p>今後の流れだが、具体的には、秋のインカレロングの時の、前日のモデルイベントと同時開催する計画で、今のところ動いている。本日にインカレスプリントを開催するのかどうかは、幹事会では、6月に開催される東大OLK大会の会場で臨時総会を開催して決議する方針となった。</p> <p>インカレを一つ増やすという、皆さんに高度に関わってくる話なので、主体的に意見を出してほしい。  私が半年間準備してきた話ではあるが、準備不足は否めない。(報告書作成など)もう少し準備してから、(各加盟員)みんなに考えてもらって、臨時総会で決めていきたい。  (ここではまず、方向性の確認はしたい)。</p>
山本		
山川	立教	<p>インカレミドルの前日は無理という話だったが、インカレロングの前日でこれから開催を続けていくことを考えているのか。  みんなの選択によるが、単独で開催できるようになるのがベストだと思う。検討課題だと思う。</p>
宮川	立教	<p>スプリントという種目はロング・ミドルなどに比べて、細かな規則が多いと思うが、実験大会ではそれがうまく反映されていなかったと思う。そのあたりはどうするのか。</p>
山川		<p>レポートでも触れるつもりであるが、そのあたりは全然足りていなかった。今回の実験大会は5〜6人で運営したが、スプリントを競技として求めていくと、運営の人員や時間が絶対的に足りないことなどが分かった。役員はあと10人は必要である。開催する場合はガイドラインを作りたい。実際、失格に近い行為があったが、役員側にも甘えがあった。</p>
木村		<p>4月にJOAでスプリント大会を開催する。</p>
山川		<p>スプリントは渉外などを一体で準備してやっと成立する競技スポーツである。WOCのセレクションでも、(渉外の都合により、開催場所が)二転三転した末、山西・JOA会長の所属する、立正大学に決まった。</p> <p>(10時42分 木村、山西・JOA会長 途中退席)</p>
山川		<p>インカレや全日本大会といった、競技として最高峰の大会を開催する場合は、渉外や役員関係を含め、設計やシュミレーションからきっちりやらなければならない。  スプリントは、知力・体力のバランスを問う、最高峰のスポーツである。競技的なことを言うと、正解を短い時間で出さなければならない。</p>
五味	金沢	<p>福井でのロングで開催する場合、資料にもある通り、8月中にセレクション(以下、セレ)を終えてほしいとあるが、東大大会のときに決まった場合、6月から8月の間にセレを開かなくてはならない。</p>

山川 五味 金沢	セレを開く手間は大変だろう。実験大会ではそれをしたくなかったので、大会での実績を考慮して出場選手を選考したが、初回大会も同じような形で行いたい。 今回学内セレをしたらよいという形があった。ただ、大きな大学ならよいが、金沢大学のような中規模な大学だと、女子でセレを行っても、(女子部員が)10人いないので(成績上位)10分の1に入れない。また、地理的にみても、スプリント競技は関東などでの開催が多いため、北信越(の学生)は出場の手がかりが少ない。 そういう理由をもって、やる気を出してほしい。
山川 五味 山川 戸上	「インカレスプリントに出たい」というやる気があれば、セレがどんな形であっても、出られるということか。 特に女子だが、基本的には懐の大きなやり方で行きたい。
山川 戸上 山川	東京工業 実験の間はそれでよいかもしれないが、実際にインカレスプリントとしてこれから開催していくこととなったとき、セレはどのような形で行うのか。 具体像はまだ描けていないが、むやみに手間をかけると大変なので、そこはみんなで知恵を絞っていききたい。今回、男子では、(過去に出場した大会での成績上位)10分の1という基準をとりあえず設けたところ、(出場選手数が上限)ぴったり30人となった。本気で開催する場合、出場を立候補する選手が増えることで、何人が落とさなければならなくなり、選考委員会を設けなければならぬことがあるだろう。
戸上 山川	東京工業 関東のように、普段からパークアウトに出ている人がいるが、北信越にも出たい人がいると思う。 地区枠を考えると、みんなで知恵を絞るしかない。人数による有利・不利がないような仕組みはあるべきだと思う。(インカレスプリントを)開催するとなったら、問題が山積しているのはわかっている。でも、私はアイデアを出してやる方であり、そういう知恵を出すのも皆さんである。
山本 山川 山本 山川	6月の総会で秋の開催が決まった場合、規約(インカレ実施規則)の整備はどうなるのか。 後追いでやるしかない。規約は法律であり、一瞬でできるわけがない。先に実績ありきで進めることになると思う。 (規約が決まっていない状態で)第1回インカレスプリントを名乗っても大丈夫か。 私は大丈夫だと思う。総会で決めてもらって、(規約)運用・報告は私か山上・委員長に任せてもらおうことになると思う。みんなの意見はできるだけ吸い上げていきたい。 なお、レポートはウェブ上で発表するので、クラブで持ち帰って議論し、6月の東大大会での臨時総会で開催決議を取るという方向で進めたい。
新谷	<b>7.「テレインと地図の管理に関する規則」の廃止および新規則の作成について</b> ●「日本学生オリエンテーリング連盟におけるテレインと地図の利用に関する規則」案の確認と採決を行い、可決・成立した。これに伴い、「テレインと地図の管理に関する規則」が廃止されることとなった。 資料確認 「テレインと地図の管理に関する規則」の内容の一部が、先ほど成立した地図規約と重複しているため、この規則を廃止し、新しく規則を作ることとなった。特に大きな変更点はないが、現在の規則にある「渉外整備委員会」は存在せず、現状と合わないので、削除した。また、「違反」についても幹事会で不要という意見があったので、削除した。 →特に異論は出されず、全会一致で可決された。(出席校36校中賛成36(うち委任状5)反対0)
	<b>8.来年度幹事について</b> ●来年度の日本学連幹事の候補者の承認を行った。 次期幹事候補者は以下の通り。(所属・現在の学年)(敬称略) 【日本学連幹事・会計監査】 幹事長→宇井 賢(京都大3・現 関西学連幹事長) →全会一致で承認された。(出席校36校中賛成36(うち委任状5)反対0) 副幹事長→佐藤 大樹(東京工業大3・現 関東学連幹事長) →全会一致で承認された。(出席校36校中賛成36(うち委任状5)反対0) 会計→大久保 宗典(東京大2・現 東京大渉外) →全会一致で承認された。(出席校36校中賛成36(うち委任状5)反対0) 事業部長→平野 大輔(名古屋大3・留任) →全会一致で承認された。(出席校36校中賛成36(うち委任状5)反対0) 広報部長→高橋 秀明(金沢大2・留任) →全会一致で承認された。(出席校36校中賛成36(うち委任状5)反対0) 事務局長→新粥 文哉(千葉大2・現 千葉大渉外) →全会一致で承認された。(出席校36校中賛成36(うち委任状5)反対0) 普及部長→杉村 俊輔(東北大3・留任) →全会一致で承認された。(出席校36校中賛成36(うち委任状5)反対0) 渉外部長→橋場 良太(東北大2) →全会一致で承認された。(出席校36校中賛成36(うち委任状5)反対0) 会計監査→野本 圭介(筑波大3・留任)、五味あずさ(金沢大2・現 金沢大渉外) →ともに全会一致で承認された。(出席校36校中賛成36(うち委任状5)反対0)
山本	<b>9.技術委員会報告</b> ●技術委員長の大西を代理して、山本より、学連合宿・会計報告・ユニバーについて、それぞれ報告があった。 技術委員会の大西・委員長は今日出席していないが、報告内容を預かっている。 (1)学連合宿の開催について 来年度も年4回の開催を予定している。講習会については、地図調査や計セン、コースプランニングについても扱うことを考えている。 (2)会計報告 学連からの補助のもと、予算の範囲内で合宿を行った。 (3)ユニバーについて 2014年8月にユニバーシアードがチェコで開催される。選考会が4月6日富士こどもの国(静岡県)付近で開催される。ぜひ参加してほしい。
山田(陽) 高橋 平野(大) 山田(晋) 杉村 平野(弘)	<b>10.各部局活動報告</b> ●会計：今年度会計中間報告、来年度予算作成 ●広報部：総会・幹事会議事録の発表、ホームページの更新、日本学連アカウント作成 ●事業部：第3回・第4回幹事会のとりまとめ、後夜祭開催(3月9日) ●事務局：加盟登録受け付け、各種申請の受付 ●普及部：インカレ観戦ガイドの作成・周知 ●渉外部：11～2月分の日光・矢板のテレイン利用の地元への周知(月1回)
山田(陽) 高橋	【会計】 一昨年度・昨年度会計決算については、秋の総会で必ず報告する。 【広報部】 日本学連ツイッターアカウント作成(@tw_uofj)を作った。ぜひフォローしてほしい。

平野(大)	【事業部】 後夜祭・講習会の要項については近いうちに発表する。
山田(晋)	【事務局】 加盟登録の追加申請は12月31日まで受け付けを行ったが、1か月短くしてもよいと思う。年末にはインカレミドル&リレー実行委員会が始動しており、事務作業が煩雑になる、などが理由としてあげられる。
平野(弘)	【渉外部】 矢板市内のテレイン利用についてのガイドラインでは、テレイン利用後1週間以内に事後報告をすることとなっているが、2~3件しか来ていない。これからは行うように気を付けてほしい。
山本	練習会などを開くときは、その度にきちんと各地区学連に必ず申請してほしい。
千葉 高嶋	<b>11.各地区学連活動報告</b> ●北東学連：ミドルセレ・学連総会・機関紙第3号発行(10月27日)、学連総会・機関紙第4号発行(3月7日) ●北信越学連：ミドルセレ(千葉大・東工大大会(11月17日)、関東学連合同(12月8日)の2戦方式)、機関紙発行、第5回学連総会(3月10日)
佐藤 川上 宇井	●関東学連：第6回関東学連総会(2月20日) ●東海学連：ミドルセレ・学連総会(12月22日)、機関紙発行(12月24日) ●関西学連：第2回定例戦・第3回学連総会(10月27日)、ミドルセレ・第4回学連総会(11月24日)、ウエスタンカップリレー・第5回学連総会(2月16日)
佐藤	【関東学連】 ミドルセレの推薦立候補に関する規約を改正した。総会での承認が必要である。大きな変更点は、Aエリート通過基準の明確化、Bエリートの通過基準を実績のみとしたことである。 →全会一致で可決された。(出席校36校中賛成36(うち委任状5)反対0)
山本	<b>12.次回総会について</b> 【次回総会】 ●開催日：6月1日(東大OLK大会表彰式後) ●開催地：東大OLK大会会場
	幹事会終了:11時35分